

日時：2025年9月2日（火）18:00～20:00  
実施方法：オンライン会議

## 日本パーソナリティ心理学会第164回常任理事会議事録

出席：尾見康博理事長、松田英子副理事長、小塩真司、森津太子、田中麻未、  
外山美樹、武田美亜、川本哲也、中村真  
※審議事項I（第34回大会について）のみ、佐藤広英大会準備委員長が参加した。

### 報告事項

#### I. 理事長挨拶 II. 各種委員会報告（主に第34回理事会・総会での報告事項の確認を行った）

##### 1 機関誌編集委員会（小塩委員長）

###### （1）機関誌発行状況・計画（前回総会時より）

過去1年の機関紙発行状況について、以下の通り報告があった。

第33巻第3号（3月、原著3、ショート11[うち事前登録研究、事前登録追試研究各1]、報告1）

第34巻1号（7月、原著6、ショート9）

第34巻2号（11月、原著8、ショート11[うち追試研究、事前登録研究各1]）

※8月27日現在

###### （2）投稿・審査状況の推移

以下の表の通り、過去10年の投稿・審査状況について報告があった。

年度	採択	不採択	取り下げ	投稿数
2016	30	30	12	68
2017	29	25	7	81
2018	35	30	10	78
2019	33	40	8	79
2020	33	30	6	79
2021	31	19	8	57
2022	28	19	3	53
2023	32	17	2	64
2024	34	25	2	78
2025	34	25	4	52

※2025年は8月27日まで

###### （3）投稿規定等の改訂

編集規定、投稿規定、チェックリストが2025年4月に改訂されている旨の報告があった。

(4) 第 35 期 (2025 年度) 編集委員会  
別紙の通り報告があった。

## 2 経常的研究交流委員会（森委員長）

これまでに行われた第 33 回大会経常的研究交流委員会企画シンポジウム、第 33 回大会 MPP (ミドルサイコロジスト・プログラム)、大会外企画 (3 月企画) について報告があった。併せて、第 34 回大会で招待講演 (大会準備委員会との共同企画)、シンポジウム、MPP を企画していること、2026 年 3 月に大会外企画を実施予定である旨の報告があった。

また、Summer School of Personality Science 2026 (SSPS2026) への院生会員の派遣を予定しており、詳細が決まり次第、メールニュース等にて会員向けの案内を行うとの報告があった。

『パーソナリティ心理学事典』(丸善出版) に掲載する「心理尺度リスト」の作成に委員会として協力するとの報告があった。

委員構成と任期に關しても報告があった。

## 3 広報委員会（川本委員長）

ウェブサイトの更新、メールニュースの配信について活動報告があった。また、第 34 回大会に関して、YPP (ヤングサイコロジストプログラム) を 10 月 3 日に対面で開催する予定である旨の報告があった。

委員構成と任期、今後の活動計画 (ウェブサイトのコンテンツ作成、メールニュース配信を中心とする通常業務) についても報告があった。

## 4 褒賞関連事項（外山褒賞担当常任理事）

詫摩武俊賞 (優秀論文賞) 1 本 (第 33 卷第 1 号掲載『特定少年実名報道と原因帰属の相互メカニズム——個人化論の観点から』向井智哉・松木祐馬・貞村真宏・湯山 祥・綿村英一郎 著)、奨励論文賞 1 本 (第 33 卷第 3 号掲載『小中学生の学力と Grit の関連——遺伝環境構造から』山口天音・敷島千鶴・川本哲也・赤林英夫・安藤寿康 著) が決定した旨の報告があった。

## III. 日本心理学諸学会連合（尾見理事長）

尾見理事長より、第 34 回理事会・総会では、第 33 回大会以降に行われた日本心理学諸学会連合の社員総会での主たる報告事項及び審議事項について報告する旨の説明があった。

## IV. 第 35 回大会の会期について

第 35 回大会を早稲田大学戸山キャンパスにて開催すること、会期 (予定) を 2026 年 8 月 25 日 (火) ~26 日 (水) とすることを申し合せた。

## V. その他

特になし

## 審議事項

### I. 第 34 回大会について (佐藤広英大会準備委員長)

佐藤準備委員長より、準備進捗状況について報告・確認があった（9月2日時点で参加申込者 208名、ポスター発表 128 件）。大会当日に向けて諸事項を確認し合った。

### II. 財務関連事項 (武田財務担当常任理事)

2024 年度決算について監査を終えた旨の報告があった。また、2025 年度予算案について報告があった。以上をふまえて、2024 年度決算、2025 年度予算案を第 34 回理事会・総会の審議に諮ることを申し合わせた。併せて、2023 年度決算書の誤記について修正報告を行う旨を申し合わせた。

### III. 会員の入退会に関する件 (田中事務局長)

田中事務局長より、別紙の通り、ML 審議にて承認済みの入会希望者 2 名の一覧表が示され、審議の結果、入会を追認した。併せて、2 名の退会を承認した。

以上の承認を受けて、2025 年 8 月 20 日現在、会員総数は 908 名である（今回承認された新規入会者 2 名は含まれない）。内訳は一般会員 817 名、院生会員 70 名、学生会員 5 名、名譽会員 11 名、賛助会員 5 名。

### IV. 事務局関連事項 (田中事務局長)

田中事務局長より、別紙の通り、第 34 回理事会・総会において報告する会員の異動および会費の納入状況について説明があった。

### V. 第 34 回理事会議案・第 34 回会員総会の式次第について (田中事務局長)

第 34 回理事会議案、第 34 回会員総会の式次第について確認が行われた。また、総会に関しては事前に会員に URL を送り、大会の参加申込をしていない会員もオンライン参加できるようにすることを確認した。

### VI. ウェブサイトのリニューアルについて (川本広報委員長)

別紙の「リニューアルに伴う概算費用見積」が示され、審議の結果、リニューアルを前提に詳細を継続検討することを申し合わせた。

### VII. 次回常任理事会の日程について

12 月 21 日（日）14:00 より、早稲田大学 戸山キャンパスにて対面開催することを申し合わせた。

以上